

2023年8月30日

一般社団法人日本音楽出版社協会 (MPA)
会長 稲葉 豊 殿

一般社団法人日本音楽作家団体協議会 (FCA)
会長 石原 信一
理事長 小六 禮次郎



著作権契約書 FCA・MPA フォームの見直しに関する件

拝啓 時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は FCA の活動にご協力、ご賛助を賜り、誠に有難うございます。

著作権契約書 FCA・MPA フォーム（以下、標準契約書と言います）の見直しにつき、以下のとおり申し入れます。

著作権契約書 FCA・MPA フォームについて

ご承知のとおり、現在の標準契約書は、MPA と協議して 2001 年に作成した契約書がベースになっています。作成から 20 年が経過し、この間、種々の法律の制定や JASRAC の管理委託契約約款の変更に対応して都度、改訂を重ねてきましたが、契約のベースとなる部分については見直していません。

FCA では 2021 年と 2023 年に音楽作家を対象にアンケート（音楽作家の意識・実態把握調査）を実施し、音楽出版社を含む制作者との契約関係が適正なものとなっているか調査しました。その結果、音楽作家が標準契約書とその運用について問題意識を持っていることが明らかになりました。

<https://fca-rights.jp/special-pages/survey/>

<https://fca-rights.jp/survey-2/>

標準契約書に関するアンケートの結果について

上記アンケート結果で示された、標準契約書とその運用に対する音楽作家の問題意識は、契約期間、取分の設定、譲渡作品の利用開発等、多岐に亘ります。しかしながらそれらの本質は標準契約書の運用に選択肢がなく自由度や柔軟性を欠いていることなのではないかと考えるところです。

日本の音楽シーンの変化について

近年、日本にも拠点を置いて動画配信サービスやゲーム開発を手掛ける海外の制作者から邦人作家が音楽制作の依頼を受けるケースが増えてきました。会員作家からは海外の制作者から提示される著作権契約が標準契約書と相当に違うことに戸惑いの声が上がっています。

海外では日本で標準にした著作権譲渡契約以外の選択肢があること、契約の諸条件に選択肢があること、著作権契約は日本と海外とではかなり違った状況に置かれていることに邦人作家は気づき始めています。

音楽業界がグローバル化するなか、邦人作家が海外の出版社と契約することが普通になっていく未来を想像したとき、はたして本邦における音楽創作は健全な発展を遂げているのか、他分野で既に起きている人材流出が音楽創作でも起きるのではないかと心配しています。

MPA との意見交換の実施について（ご提案）

標準契約書の制定以来 20 年が経過し、前述のとおり日本の音楽シーンは制定当時と様変わりしています。

FCA といたしましては MPA と協働して新しい契約の形を探っていく必要があると考えます。

そのためにもまずは標準契約書が抱える課題について FCA と MPA が意見交換する場を設け、情報と問題意識を共有することを提案します（別紙）。

結び

私達音楽作家にとって大事なビジネスパートナーである音楽出版社とは相互信頼と互惠の精神でパートナーシップの関係をしっかりと作っていくことが何より大事であると考えています。また日本の出版社には音楽業界で世界をリードする存在になっていただきたいと考えています。FCA といたしましては音楽作家と音楽出版者との適正なパートナーシップのためにより選択肢が保障された世界を実現できるよう共に活動してまいりたいと考えます。

どうか標準契約書の見直しに向けて意見交換を実施いただきますよう、本書をもってお願い申し上げます。

敬具

著作権契約書 FCA・MPA フォームの見直し等に係る意見交換実施の件(ご提案)

目的 : 著作権契約 FCA・MPA フォーム(標準契約書)にまつわる著作者・出版者双方の問題・課題のほか、音楽作家と出版者に共通する課題を FCA と MPA で共有し、相互信頼と互恵の精神に基づくパートナーシップの構築の助けとする。

背景 : 2001 年に標準契約書を制定して 20 年が経過した。この間、契約のベースについては見直していない。

日本の音楽シーンは、動画配信サービスやゲーム開発を手掛ける海外の制作者が参入して国境を越えた事業を展開するなかで邦人作家に音楽制作を依頼するなど、FCA・MPA フォームを制定した当時と様変わりしている。

音楽作家が標準契約書とその運用に問題意識を持っている。

実施内容 : ・課題の洗い出しと共有
・現状分析のための情報収集

実施期間 : 3 か月

実施体制 : MPA と FCA からメンバーを出し合って集中的に意見交換会を実施する。意見交換会にはオブザーバーとして JASRAC や NexTone にも参加してもらう。

以上